

横須賀市歌

堀口大學 作詞
團 伊玖磨 作曲

1,
白波は 白波は ^{みさき}岬に くだけ
光る風 光る風 大地に あそぶ
半島の 半島の 只中 占めて 4,
はつらつ
潑刺と わが横須賀は

うるわしき うるわしき 自然のめぐみ

太陽の 前に生きたり
前向きに 前向きに 明日を行く手に
はつらつ
潑刺と わが横須賀は
太陽の 前に生きたり

地に満つる 地に満つる 観光都市ぞ
き き
樹を愛し 樹を愛し 人はすこやか
は
遠くとも 訪い来て見ませ
にお
北限に 匂う浜ゆう

2,
黒船の 黒船の 浦賀の海も
燈台の 燈台の 観音崎も
そのままに そのままに 威信日本の
めざ
飛躍への 目醒めの歴史
今ぞ知る 意義の 尊さ
百年の 百年の 国のあゆみに
めざ
飛躍への 目醒めの歴史
今ぞ知る 意義の 尊さ

荒崎に 荒崎に ^か岩噛む波を
遠くとも 訪い来て見ませ
にお
北限に 匂う浜ゆう

5,

未来こそ 未来こそ 横須賀の夢
大いなり 大いなり われらが夢は
黒潮に 黒潮に わたすかけ橋
大いなり 大いなり われらが夢は
ひと跨ぎ 東京湾も ひとまたぎ
大いなり 大いなり われらが夢は

3,
たぐいなさ たぐいなさ 天子の地の利
踏まえての 踏まえての 近代都市ぞ
日に月に 日に月に 進む産業
さっそう
颯爽と わが横須賀は
良港に 造船栄え
埋立てに 埋立てに 工場競う
颯爽と わが横須賀は
良港に 造船栄え

大いなり 大いなり われらが夢は
ひと跨ぎ 東京湾も ひとまたぎ